

令和7年6月第2回 木島平村議会定例会
《第2日目 令和7年6月5日 午前10時00分 開議》

議長（勝山 正）

皆さん、おはようございます。

（出席者全員「おはようございます。」）

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

なお、クールビズでの対応ということになっておりますので、途中で暑くなったりした時点において上着を脱いでもらって構いませんので、よろしくお願ひします。

日程第1、一般質問を行います。

一般質問の順序については、議会運営委員会において抽選のとおりです。

8番、山崎栄喜議員。

（「はい、議長。8番。」の声あり）

（8番 山崎栄喜 議員 登壇）

1. 道の駅再整備について

8番 山崎栄喜 議員

発言を許されましたので、通告に基づき、2項目について質問をいたします。

最初の質問、道の駅再整備計画について質問します。

3月26日に村内2会場で道の駅ファームス木島平再整備計画の村民説明会が開催され、その再整備計画に対する村民の意見が5月23日の議会全員協議会で報告がありました。

また、議会全員協議会の会議冒頭の村長挨拶において、村長からは「再整備のスケジュール、進め方を検討する」との表明がありました。道の駅は村民の重大関心事であり、注目をされておりますので、全員協議会で報告のありました事項も含めまして、次の点について村長に伺います。

1点目、3月に行った交通量調査による通行車両台数の報告がありましたが、需要予測はどのくらいか。再整備計画の需要予測、今回行った交通量調査に基づく需要予測、人口が急激に減少しておりますので、10年後の需要予測の比較についてご答弁をお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

湯本産業企画室長。

産業企画室長（湯本幸伸）

お答えします。

3月に行いました交通量調査につきましては、道の駅の前と直売所たる川の2か所で行っております。

再整備計画に計上されております想定需要額につきましては、道の駅に様々な機能や投資を行うことを前提のうえで予想されているものでありますが、対面交通量から需要予測をしております。

その数字は、令和3年度に実施しました運営改善計画策定業務報告書によるものであります。この報告書には、当時、国土交通省が公表しておりました近隣の交通量調査データを採用しております。そのため、同じ場所での比較とはなりません、その数字と比較しますと、報告書の数字が3,794台、今回3月に行いました交通量調査では3,327台と、12%減となっております。

ご質問いただきました今回の交通量調査に基づく需要予測につきましては、単純に数値比較をしますと需要予測額も12%減になるかと思われまます。

また、10年後の需要予測についてご質問ありましたが、村では10年後の需要について現在予測することはできません。

よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

「10年後の予測ができない」という答弁でございましたが、木島平村に限らず、周辺地域も含めて人口が大幅に減少するだろうと見込まれます。したがって、需要予測も当然落ちるものと思いますが、できないということでございますので、次の質問に移ります。

2点目の質問は、3月に行いました説明会、それに基づくアンケート用紙、そして、パブリックコメントを募集しておりますが、そこで出された意見の概要と、その意見に対する村長の感想についてお聞きします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

それでは、アンケートまたパブリックコメントについての感想ということですが、説明会には2会場で延べ60名の方にご出席いただき、アンケートも取らせていただきました。また、意見募集につきましましては、26名の方から84件にわたりご意見をいただきました。説明会にご出席いただきました方、意見募集に提出していただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

会場でのご意見やアンケート、意見募集に寄せられましたご意見は様々であります。道の駅や再整備計画への反対意見から、前向きに新たな機能を提案されたものまで、幅広くいただきました。

特に過去の経過を踏まえて道の駅に反対される方、再整備計画へ反対されるもの、機能や事業費等から計画への不安や疑問といったものが多かったかなと思っております。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

様々な意見が出たということは、私も2会場とも出席しましたので承知をしているところでございますが、簡単に言うと、賛成・反対・機能修正、この3つに分けてどのぐらいのパーセントになるかお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

湯本産業企画室長。

産業企画室長（湯本幸伸）

お答えします。

明確に反対というご意見をいただいたものがおよそ半分というふうに承知しております。そのほか、質問の内容で疑問を持ちながら反対であったりというようなニュアンス的なものもありますので、その細分化というのは、こちらの方ではちょっと数字としては難しいかなと思っております。

よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

それでは、3点目の質問に入ります。

村長から「再整備のスケジュールと進め方を検討する」ということの表明がありましたが、その検討を行う理由は何か、それから何を見直すのか、それについてお答えをお願いしたいと思います。

それからまた、見直しの内容にもよることとなると思いますが、再村民説明会の開催予定についてもお聞きをします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

先ほども申し上げましたが、特に過去の経過も踏まえて道の駅に反対、当初は道の駅という場所ではありませんでしたが、再整備計画自体に反対、そしてまた、機能や事業費等から計画への不安や疑問といった声が寄せられたと。そういうことから、この再整備計画をそのまま進めるのではなく、スケジュールも含めて計画内容を見直すことといたしました。

いただきましたご意見、そしてまた結果等を村としても慎重に受け止めていきたいということでもあります。今後、計画の見直し、そしてまた、内容等を検討しまして、議会、村民の皆様と情報を共有しながら進めていきたいと考えております。

村民の皆さんを対象とした説明会については、見直しを進める中で改めて計画等を、村の考え方を整理してその中で検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

答弁ございましたが、再質問させていただきますが、機能という話がございましたが、廃止という選択肢は全くないものかどうか。また後の質問にも出てきますが、村長の今の時点のお考えをお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

前にもご説明申し上げましたが、仮に一部を残すとか解体するとかそういうことであっても、村とすれば多額の費用がかかります。これらも考えながら、村の財政的な負担等も考えながら、そしてまた、できればやはり、村の経済的な発展、そしてまた地元の皆さんが憩う場づくり、それらを含めた中で何が最善か検討していきたいということではありますが、現時点では、まだその辺まとまっておりませんので、先ほど申し上げましたとおり、これから再検討の中でまた練り直していきたいと思しますのでよろしくお願い致します。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

取壊しの関係の答弁がございました。解体は、いずれどの道しなくてはならなくなるわけです。

今の運営管理費、これは約1,400万ぐらいであります。そうすると、7年経てば仮に1億円かかったとしてもその費用が賄える、おつりがくるという状況になるのではないかと思います。その辺も含めて検討されるお考えがあるかどうか、お願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

当然、以前も申し上げましたが、道の駅であれば村の皆さんが農産物とか加工品・特産品等を販売する、言ってみれば村民所得の向上関係する部分もありますし、そしてまた、子供からお年寄りまで憩いの場となるということで、金額的には示すことができない効果もあるだろうと。その辺も含めながら費用対効果について改めて検討していきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

それでは4点目の質問ですが、スケジュールと進め方を検討するのであれば、この際、民意を尊重して、1点目として、道の駅を廃止し、思い切った企業誘致制度の新設と拡充を行い、企業を誘致する。2点目、A棟のみを解体して、観光振興局の事務所と子ども広場のみを整備する。

この2点も含めて検討すべきであると私は考えますが、見解をお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

先ほど申し上げましたが、見直しをすると決めた段階でありますので、今後様々なケースについてまずは検討していきたいと考えております。ご質問のというよりご提案ということで、今後の見直しの中で参考にさせていただきたいと思います。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

5点目の質問ですが、再整備を行うことに対して、住民投票やアンケートでは民意を問うことを求める意見が多くあります。私にも何人もそういう意見を寄せられています。再整備を行う場合にはアンケートを実施すべきであると考えますが、村長のお考えをお聞きします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

いずれにしても、再整備を行うにしても行わないにしても、村民の皆さんのご意見を伺うのは大変

大事だと思っておりますが、現時点ではアンケートとは考えておりません。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

「現時点では行わない」という答弁でございますが、内容は変更があっても再整備を行うという場合にはアンケートを行うかどうか、そのまま突き進まれるのかどうか、その点をお願いしたい。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

アンケートで実際の村民の全体の意見を把握できるかどうか、その辺どうなのかというところもあります。いずれにしても、現時点でアンケートは考えておりませんのでよろしくお願いします。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

2. 農業委員会建議について

8番 山崎栄喜 議員

それでは、2番目の質問、農業委員会建議について質問します。

議会では、4月23日に農業委員会との意見交換会を行いました。当日は、遊休荒廃農地対策や担い手対策、堆肥センター、狭い農地の土地改良などについての意見を交換いたしました。

議会では、この後それぞれの課題についての対応を検討することとしていますので、本日は、その具体的な内容についての質問は差し控えたいと思いますが、大変有意義な意見交換会でありました。

かつては、農業委員会から村への農業施策に関する建議が毎年行われてきましたが、今は行われていないと言います。農業委員会は農業に関する重要な公的団体であり、村の農業振興を図るうえで、その意見を聞くことは大変重要と考えます。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、建議を行わなくなった理由は何かお尋ねします。

議長（勝山 正）

本山産業課長。

産業課長（本山 等）

建議を行わなくなった理由についてご質問をいただきました。

これまでの建議書に関する経過を調べたところ、平成27年度までは建議書が提出され、平成28年度は意見書という形で提出がされております。平成29年度以降は、村への建議書や意見書の提出はございません。

村に対する建議が行われなくなった明確な理由は不明ですが、農業委員会の組織や役割を定めた農業委員会に関する法律が平成28年4月に改正されております。これまで行政庁に対し建議ができるという規定がございましたが、この部分を削除されております。この法改正が起因して、建議が行われなくなったものと考えております。よろしくお願いします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

それでは2点目に、農業委員会から建議を行いたいという要請があったときには、村は応じるお考えがあるかどうかお聞きします。

議長（勝山 正）

本山産業課長。

産業課長（本山 等）

農業委員会から建議をいただいた場合には、貴重なご意見として適切に対応をしたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎栄喜議員。

8番 山崎栄喜 議員

前向きな答弁いただきました。

先ほど法律改正の話がありましたが、私も調べてみましたが、この建議については法的根拠がなくとも行われるため、法令業務から削除ということになっておりまして、現実に行っている市町村も数多くありますので、ぜひ積極的な取組をお願いしたいと思います。

以上で、私の質問を終了いたします。

議長（勝山 正）

以上で、山崎栄喜議員の質問は終わります。

(終了 午前10時21分)

議長（勝山 正）

ここで暫時休憩とします。

再開は、午前10時30分とします。

(休憩 午前10時21分)